

序

水産増殖センターでは、複雑に様相を変える社会情勢に対応して、研究テーマを設定し、その研究結果を年1回事業概要として発表してきました。今度昭和50年度に実施した諸研究の結果を第6号として発刊することになりました。

昭和50年は、青森県としては、水揚量は68万5阡トン、金額にして773億円で、史上最高を記録したのでありますが、その反面陸奥湾のホタテガイ漁業においては、大量へい死が初めて起こった年として、ホタテガイ漁業史上に永久に記録されるべき年であろうと思っております。昭和51年現在、ホタテガイの大量へい死は、なおも続いており、行政指導として一漁家当たりの養殖数量を制限する総量規制をしようと懸命の努力をつくしているこの頃であります。

こういう背景において、刊行する業務概要でございますので、皆様方の御懇篤な御指導、御批判を賜われれば、誠に幸であります。

なお、今まで、青水増情報として、ホタテガイ採苗情報、陸奥湾海洋観測結果を一般漁民に流しておりましたが、一般漁民からもっと早く、もっと広く知らせてくれとの強い要望があって、本年度は情報を中止し、ホタテガイ、アカガイの採苗情報、海況情報として、テレビ、電話、コピーによって要望に対応したことを申し添えておきます。

昭和51年12月

青森県水産増殖センター

所長 津 幡 文 隆